

Design your own road

WHILLの月刊誌

WHILL MAGAZINE

2017
JUL. 7

WHILL株式会社

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-1-40 横浜市産学共同研究センター実験棟F区画
WHILLコンタクトデスク TEL: 0120-062-416 (IP電話の方: 050-3085-9840)
受付時間: 9:30~17:00 (月~金曜日)
HP: <http://whill.jp/contact>





お客さまインタビュー

KAZUHIRO ITO

VOLUME. 19

伊藤和博さん

手を繋いで歩ける ことが嬉しいです。

横浜市で重度訪問介護の事業所を運営している伊藤様。
ご自身も介護が必要であり、
介護現場の人手不足を解消するために外国人の方を招聘、
教育し、手厚い介護サービスを提供しています。
いつもお使いの Model Aに加えて、
パートナーと一緒に Model C にもご試乗いただきました。

WHILLご利用のきっかけ

WHILLのことは、2011年にコンセプトモデルを東京モーターショーに出展した時から知っていました。もともとデザイン関係の仕事をしていたので、置いてあってもインテリアになるし、空間を邪魔しないWHILLのデザインはとても魅力的でした。また、車椅子なのに四輪駆動で、多少のオフロードも可能なところ。見た目だけじゃない走行性能の高さも、WHILLを選んだポイントの1つです。



WHILLの気に入っているところ

アプリを使ってBluetoothで動かせるところが気に入っています。WHILLから降りた後、決まった場所に自分で置くことができるので、誰かに頼む煩わしさがなくなりました。また、そんな機能を知らない友人たちが、無人で動いているWHILLを見て驚いているのを見るのも楽しいですね。

WHILLが来て大きく変わったこと

外出が増えて、行動範囲が広がりました。先日は電車で品川の水族館へ行ったのですが、入口までの長い坂道を楽に登ることができましたし、彼女と手を繋いで歩けることが何より嬉しかったですね。



Model Cを試乗して

見た目も、乗り心地もすごく良いですね。僕が思う Model A の短所をすべて解決したのが Model C だと思います。特に Model A の約半分の重さになったことと、3つに分解できるようになったことはとても画期的です。仕事柄海外へ行くことが多いのですが、Model A はなかなか持って行く気になれなかったけれど Model C なら普通の車に乗せられるので世界中どこへでも連れて行けます。Model A と Model C、2台を使い分けて活動の場を広げていくことが今から楽しみです。



WHILL Model C開発秘話

STORY OF MODEL C

乗る人の魅力を 引き立たせるような デザイン

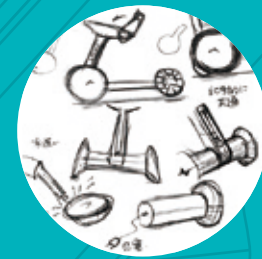
今月号はWHILLの最大の特徴であり、WHILLらしさである、「デザイン」について特集します。Model Cの外観がどのような意図でこの形になったのか、担当デザイナーに話を聞きました。



デザイン部 鳥山 将洋

まずはシルエットで考える

WHILL Model Cのデザインを担当した私は、自動車メーカーでスポーツカーの外装をデザインしていました。スポーツカーのデザインで培ったスピリットは、Model Cのデザインにも活かしています。我々が最初に作りだすのは「シルエット」です。まず、どのシルエットがカッコよく見えるか、そこから製品づくりはスタートします。何度もスケッチを重ね、「カッコよさ」を第一に検討したのち、利便性や機能性を磨いていきます。パンフレットの表紙にもなっていますが、斜め後ろから見たときに、後輪からバッテリー、アームサポートまでが直線で同じ角度で伸びていますよね。我々は「GoGoLine」と呼んでいて、ここを美しく見せることで、WHILLの前進していく乗り物感を表現しています。例えば、このラインが曲がっていたり、バッテリーがこの直線からはみ出していたらカッコよくないですよね。ここを直線に見せることにはエンジニアも私も本当にこだわりました。



Model Cの
デザインスケッチ



他の車椅子とは一線を画す「色」へのこだわり

Model Aは小学生から高齢の方まで幅広い年代の方にご使用いただいています。どの年代の方にも馴染むというのはWHILLの重要な要素だと感じているので、カラーバリエーションはどの年代にも合うように、6色をご用意しました。カラーバリエーションで目指したのは、「元氣に見える、でも上品にも見える」という印象です。そのテーマを実現するために何度も試作を重ねました。ピンクやゴールドは、シャンパン系の色味を入れて上品に仕上げています。こういった透明感のあるピンクってあまり福祉用具になかったんです。ゴールドは男女問わず人気の色です。特に難しかった色はブルーとブラックです。ブルーは普通に塗装するとどうしても沈んだ印象になってしまうので、落ち着きと爽やかさを兼ねた明るい印象にするために何度も試作しました。ブラックは遠くから見たときは深い黒が出て、近くに寄って見たときは繊細な美しさを感じられるように、パールの量を微妙に調節しています。他の色も、屋内、屋外、晴れの日、曇りの日、様々な光のもとで色の出方を何度もチェックしました。実物を見てみるとまた違った印象を持つかもしれません。現在、どの色にもまんべんなく予約をいただいていることに喜びを感じています。是非実物を見て選ぶ楽しさを感じていただきたいです。

WHILLを自己表現のためのアイテムにしていきたい

今回我々は、Model Cで、6色のカラーバリエーションを展開しましたが、今後はもっと多様なパーツを好みに合わせてカスタマイズできるようにしていきたいと考えています。例えば、タイヤの色やシートの素材を変えられるようにしたいですね。WHILLが「私に似合っている」という感覚を持っていたり、ただのモノを今後でも作っていきたいです。乗る人によって「カッコいい」にも「可愛い」にも、「スポーティ」にも「上品」にもなる。主役は「WHILL」ではなく「人」です。WHILLが乗る人を差し置いて主張するのではなく、乗る人の魅力を引き立たせるような存在でありたいと思います。

NEWS

東京と大阪でWHILL Model Cの常設展示がスタート

「バリミキ 新宿センタービル店」と「バリミキ グランフロント大阪店」でWHILL Model Cの展示を開始しました。店舗でご試乗を希望される方は、事前に店舗にお問い合わせください。一時的に店舗にない場合がございます。今後も、WHILL Model Cの展示を全国に展開してまいります。

店舗連絡先

バリミキ 新宿センタービル店 : 03-3348-5476

※Model Aの展示もございます。

バリミキ グランフロント大阪店 : 06-6359-4288

